

第61期に関するご報告

2018年3月1日～2019年2月28日

High Quality & Low Price

ハローズ

SUPER REPORT



長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」
会社創立60周年・中期経営計画3年目の年



海田市駅前店

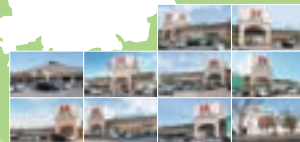


長船店



★第61期開店

魚住店



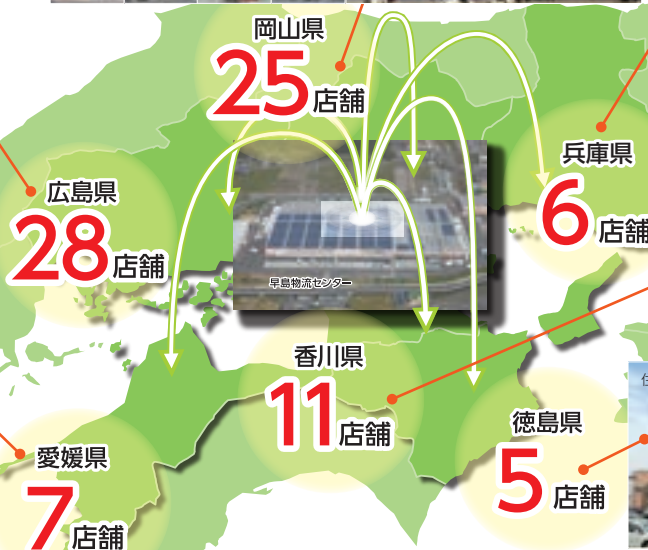
仏生山店



住吉店



今治店



Contents

- 事業のご報告1
- 特集～創業から創立60周年のあゆみ.....3
- ビジネスモデル5
- 第61期トピックス 店舗開発6
- 第61期トピックス ハローズが取り組むESG7
- 財務諸表9



証券コード:2742

事業のご報告

2018年度の大規模自然災害により被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社は2018年10月14日に会社創立60周年を迎えることができました。

これもひとえに、株主の皆様、お取引先様をはじめ、これまでお力添えいただいた多くの関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

第61期は、ステークホルダーの皆様への感謝の意を込めて、創立60周年記念イベントを実施いたしました。今後は、100周年企業を目指し、中期経営計画及び長期ビジョンを達成すべく、「地域一番お客様貢献店づくり」と「元気になる会社づくり」を全従業員で進めてまいります。

ここに「第61期に関するご報告」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2019年5月

代表取締役社長 **佐藤 利行**



当事業年度におけるわが国経済は緩やかな景気回復基調が続きましたが、米国の保護主義的な政策による経済への影響、大規模自然災害の発生及び今後の消費税率引上げ等により、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界におきましては、日常の買物での生活防衛意識

は変わらず、低価格志向が続き、オーバーストアの中での競合店の新規出店、業態間競争及び業界再編等、厳しい経営環境が継続しました。

このような状況の中で当社は、以下の主要な取り組みを行いました。

- | | |
|--------|---|
| ①販売促進面 | 創立60周年記念イベントを通じてのお客様還元セール |
| ②商品面 | 重点販売商品の育成
プライベートブランド商品の開発
産学連携の取り組み(栄養バランス弁当第6弾の販売) |
| ③店舗開発面 | 4店舗の新規出店 |
| ④店舗運営面 | 4店舗の大改装
セルフレジの導入店舗拡大
自動発注対象商品の拡大 |

社 訓

和して向上 日々感謝

経営理念

- 一、地域社会の生活文化向上に貢献する
- 一、従業員の幸せづくり人づくりをする
- 一、お取引先様との共存共栄をはかる
- 一、成長発展のため利益を確保する



- ⑤社会貢献面 フードバンク事業運営団体への商品提供
 自社エコセンターによる資源の再利用
 親子食育体験工場見学の開催
 各体育及びスポーツ支援活動
 産学連携によるレシピ本の作成
 エコキャップ収益金及びレジ袋収益金による社会福祉事業支援
 公益財団法人ハローズ財団による奨学金給付事業

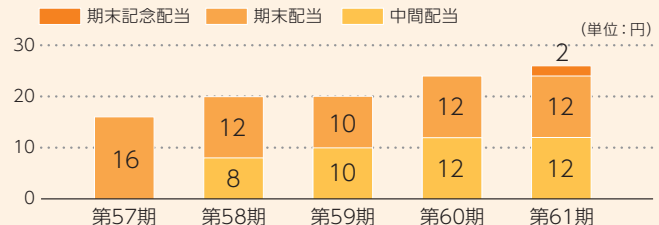
なお、「平成30年7月豪雨」により、2店舗が被災し一時的に閉店しましたが、全社に占める影響は軽微でありました。

以上の結果、当事業年度の営業収益は1,273億23百万円（前期比4.9%増）、営業利益は49億16百万円（前期比0.0%増）、経常利益は49億37百万円（前期比0.8%増）、当期純利益は31億61百万円（前期比7.0%減）となりました。

当事業年度の配当金につきましては、中間配当として普通配当1株当たり12円、期末配当として「創立60周年記念配当」1株当たり2円及び普通配当と合わせた1株当たり14円を実施いたしました。これにより年間配当金は1株当たり26円となります。

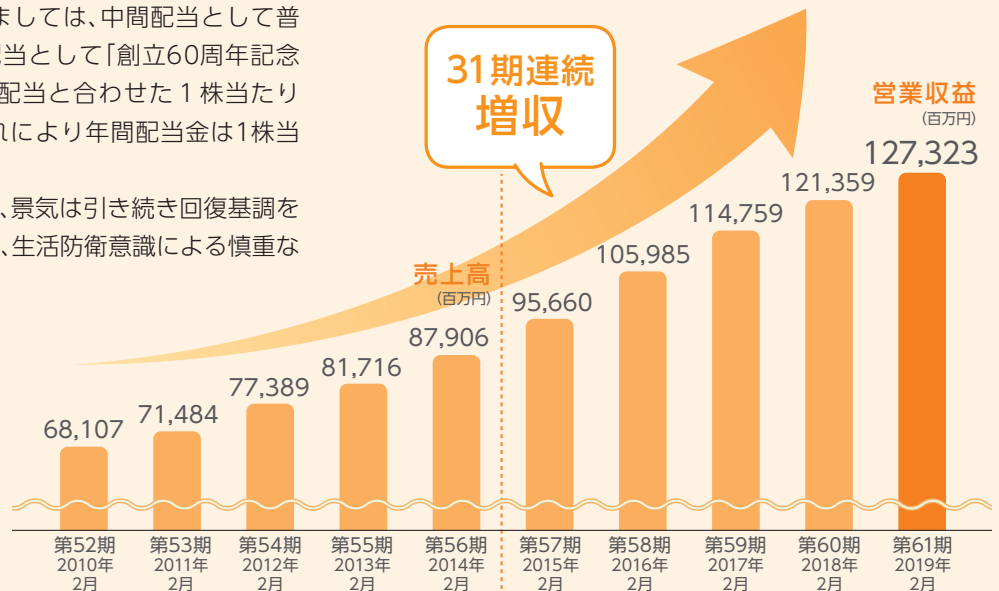
次期の見通しにつきましては、景気は引き続き回復基調を維持するとの見方があるものの、生活防衛意識による慎重な購買活動及び低価格志向が続くものと見込まれます。加えて、消費税率の引上げ、人口の減少、年齢構成及びライフスタイルの変化などが続き、これらへの対応及びオーバーストアなどの競争環境激化への対応が迫られております。

創立60周年記念配当



このような環境の中、変化・競争をチャンスととらえ、新規出店及び既存店の改装を積極的に行い、お客様満足度の高い店舗により商勢圏内での優位性確立を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(注) 第57期より、不動産賃貸収入等の「営業収入」を含め「営業収益」として表示する方法に変更いたしました。

特集～創業から創立60周年のあゆみ

創業から会社設立そして60周年、さら

1949年、広島県府中市に創業者佐藤國人が個人商店を創業。終戦後の物不足の中、地元の方々への食料品供給を使命として日夜商いに奮闘しておりました。

事業を徐々に拡大する中、1958年に「株式会社府中スーパーマーケット」を設立。備後地方でいち早くスーパーマーケット経営を始めました。高度経済成長期を背景に、新規出店、出店エリアの拡大及び新業態への挑戦等に取り組みながら、他方では、同業他社との競争環境は激化していきました。

この当時より、お客様のニーズに応えるため、また、競合との同質競争から脱却するため、自社の特徴作り、ビジネスモデル作りを模索

することとなりました。「株式会社ハローズ」に社名変更、24時間営業を開始、NSC出店方式の構築、自社物流センター構築、ハローズセレクションの誕生及び600坪型標準店舗の開発等、現ビジネスモデルの基盤を作っていました。

一方で、企業として社会との関わり方を考える中、2002年に日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録、現在は東京証券取引所市場第一部へ上場しております。

当事業年度で会社創立60周年を迎えることができました。今後も、中期経営計画の達成、さらには長期ビジョンの実現に向け、邁進してまいります。

1949年3月

広島県府中市で個人商店を創業



1994年3月

広島県福山市のハローズ引野店で
自社初の24時間営業開始



2001年11月

岡山県1号店のハローズ広島店開店



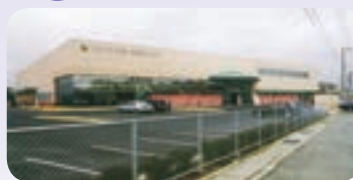
1958年10月

広島県府中市に
株式会社府中スーパーマーケット
設立



2001年2月

広島県深安郡神辺町(現福山市)で
物流センター本格稼働





に未来への歩み

2003年12月

プライベートブランド商品名
「ハローズセクション」の
誕生



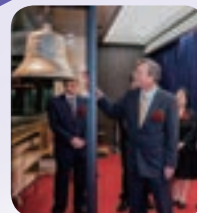
2011年1月

岡山県都窪郡早島町に
「早島物流センター」開設



2018年10月

会社創立60周年



2015年10月

東京証券取引所市場第一部に
株式市場を変更



2004年5月

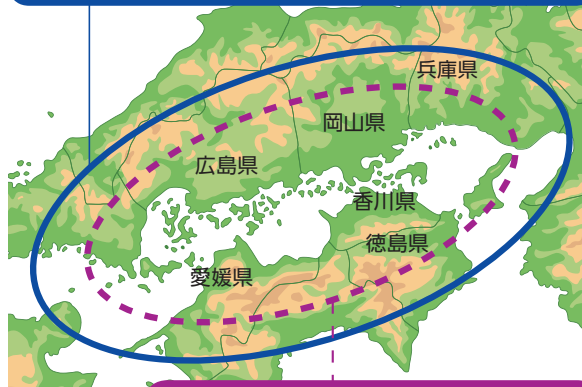
600坪型店舗1号店の
ハローズ中庄店開店



2002年9月

株式を日本証券業協会に
店頭登録銘柄として登録

瀬戸内商勢圏180店舗3000億円 構想



2020年100店舗1500億円計画

創立60周年を
新たなスタートと位置付け
中期経営計画
「2020年100店舗1500億円計画」
さらに長期ビジョン
「瀬戸内商勢圏180店舗
3000億円構想」実現に向け、
邁進していきます。

ビジネスモデル



ビジネス
モデル

1

24時間オペレーション

いつでも買物ができる24時間営業は お客様への究極のサービス

様々なお客様のニーズに24時間応えるため、食料品スーパーマーケットならではの豊富な品揃えと、心を込めた接客サービスで、お客様のご来店をお待ちしております。

雇用と就業ニーズのマッチング

24時間営業を行うためには、深夜帯の従業員の雇用が不可欠となります。当社では、深夜帯でも複数による従業員の就業体系や柔軟なパートタイム勤務体系を導入することで、安心・安全に働くことができる環境整備に取り組んでおります。



様々なお客様のニーズに24時間応えるため



- ・商品加工
- ・レジ業務
- ・接客応対



- ・商品陳列
- ・店内清掃
- ・防犯体制



24時間営業・作業の平準化による効率的なオペレーション

[24時間バックアップ]
店舗に合わせた物流体制

[24時間フォローアップ]
本部・センター情報提供

24時間サポート

店舗オペレーションを中心としたビジネスモデル

ビジネス
モデル

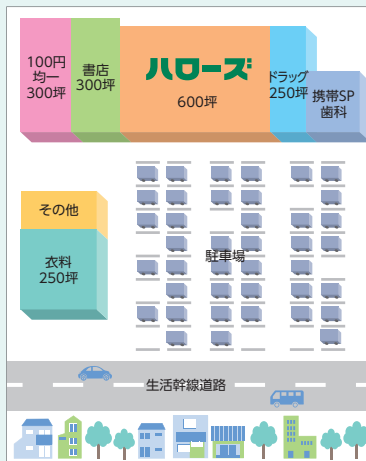
2

600坪型店舗のNSC

600坪型標準店舗

店舗の売場面積は600坪及び450坪を主体に展開しており、全体の70%以上が600坪型店舗であります。売場面積は商品の品揃えの豊富さに比例します。今後も600坪型の店舗を中心に出店を行ってまいります。

※NSC：近隣購買型ショッピングセンター



NSCの一例

NSCによる競争力のある商業エリア

生活に密着した業種・店舗を誘致してNSCを形成することで、お客様への利便性を高め、魅力あるお買物エリアを展開しております。時代に合った魅力ある店舗構成にすることで、強い競争力を持つNSCづくりに取り組んでまいります。

(2019年2月末現在 ハローズのNSC比率 約80%)

ビジネス
モデル

3

High Quality & Low Price Stores (HALOWS)

より良い品をより安く

当社はより良い品をより安く(High Quality & Low Price Stores)、お客様へ提供し続けることを使命と考えております。自社物流及び本部機能を中心に、調達から販売までをコントロールすることで、品質・品揃えの向上、商品原価の低減を進めてまいります。

ハローズセレクション

当社プライベート・ブランド(PB)商品「ハローズセレクション」は安全・安心・健康がコンセプトです。

国内外を問わず世界のベストソースから調達・開発を行い、適切な品質とお値打ち価格でお客様にお届けしてまいります。

PB総品目数

928品目

売上高構成比

10.2%

2019年2月末



平成30年7月豪雨災害とBCP

昨年7月に発生した西日本豪雨は各地に甚大な被害をもたらしました。当社でも2店舗が浸水被害を受け休業となりましたが、社内からの応援はもちろんお取引先様の皆様にもご協力いただき、懸命な復旧作業で2日後には営業を再開することができました。

今回の経験を教訓にサプライチェーンの確認・見直しを行い、南海トラフ地震などの大規模災害に備えるため、今後も本部と各店舗が一体となり、地域とも連携したBCPの構築に取り組んでまいります。



すべての従業員が携行する
簡易版BCPマニュアル

第61期の新規出店と改装状況

第61期は兵庫、岡山及び広島商勢圏のドミナント化を進めました。

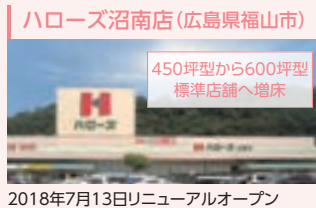
600坪型24時間営業の4店舗の出店により、店舗数は広島県28店舗、岡山県25店舗、香川県11店舗、愛媛県7店舗、徳島県5店舗及び兵庫県6店舗の合計82店舗となりました。

また、既存店4店舗を、「地域密着及び簡便性商品等の充実を目的とした品揃え・レイアウト変更」と「省エネ対応をふまえた店内設備の改修」等の改装を行いました。

新規開店店舗



改装店舗



E ~持続可能な社会のために~ nvironment

太陽光発電



ハローズは2014年より岡山県都窪郡早島町のハローズ物流センター屋上において太陽光発電への協力を開始いたしました。規模は、5,600枚のパネルを使用し、約400世帯の消費電力量が賄えます。

また、店舗においても2016年より太陽光発電への協力を開始しており、現在、50店舗で展開をしています。

今後とも再生エネルギーを通じて地域社会に貢献すべく温暖化防止に取り組んでまいります。

持続可能な社会の発展のために、当社も店舗・事務所内の省エネや廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでいます。当社が安定して事業活動を進めるためには、環境保全に努めることは当然です。お客様に安心してお買物をしていただけるよう、こうした活動に永続的に努めてまいります。

容器包装の排出抑制

エコトレー・エコAPET使用によるCO₂削減効果

エコトレーを使用により

約480t のCO₂削減効果
(2018年3月～2019年2月実績)



レジ袋 **約1.5千万枚** 削減量に相当

※1: レジ袋1枚=6.65gで換算

※2: 高密度ポリエチレン製レジ袋1kg=4.655kg-CO₂/kgで算出
(算定資料: (社) プラスチック処理促進協会HPから引用)

成木 **約2.1万本** CO₂吸収量に相当

成木1本=22.68kg のCO₂を吸収/年間

(算定資料: 早稲田大学人間科学環境生態学研究室 調査資料より)



エコトレー使用による
CO₂削減効果

年間排出抑制効果 **364,033 kg**

エコAPET使用による
CO₂削減効果

年間排出抑制効果 **116,320 kg**

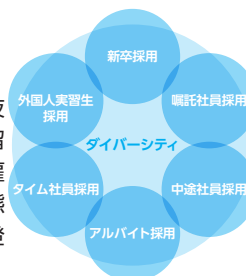
S ~社会への貢献~ ocial

当社の事業活動はお客様や地域社会に支えられており、各種のイベントやスポーツへの協賛、食に関する支援活動などを通じ、社会への貢献を果たすことは大きな責任です。その実現のために、当社のすべての従業員がいきいきと働ける職場環境づくりにも積極的に取り組んでいます。

ダイバーシティ

様々な雇用形態で有能な人材を確保し、
社会の多様なニーズに対応

ハローズの代名詞と言えば、24時間営業です。24時間営業を行うことにより、夜勤希望者など様々な時間帯での雇用を受け入れています。また、外国人実習生や留学生の雇用も行っており、多くの国の方の雇用に繋がっております。一方で、法定雇用率を上回る障がい者採用や、継続雇用を最長75歳まで行うなど、様々な雇用形態で人材を確保しております。近年では女性活躍推進にも力を入れ、女性管理者の登用促進や、育児短時間勤務制度の有効活用など、働く女性をサポートしています。



女性役員2名が活躍中



小塩登美子
取締役社長室長



池田千明
社外取締役



フードバンク (FB) 活動支援

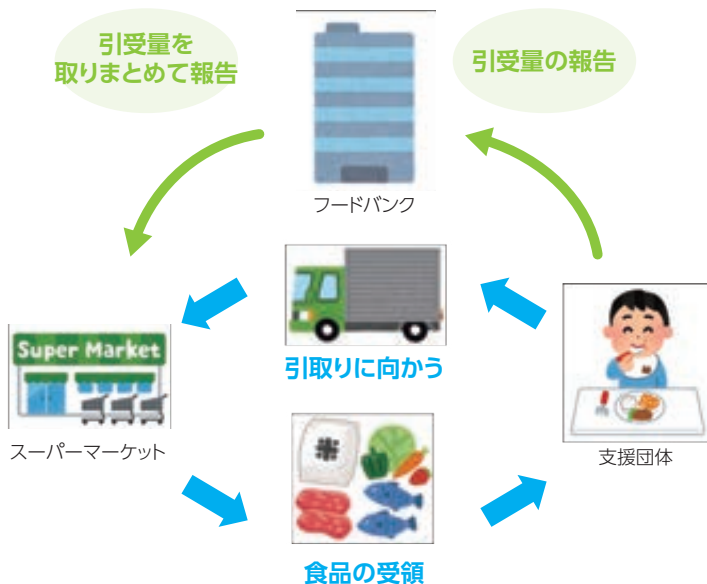
第6回食品産業もったいない大賞 農林水産省食料産業局長賞を受賞

2015年3月FB岡山から支援スタート。福山・香川・愛媛・順正学園・徳島・アリス・ウエストに順次拡大。2019年2月では、11FB・30子ども食堂・5障がい者就労支援施設・3社会福祉協議会・その他支援を必要とする団体に提供。

提供する商品は、廃棄伝票起票済みで消費期限の残っている青果・ハムソーセージ・日配食品・加工食品・菓子・日用雑貨。

2016年から、フードバンクと契約を締結した子ども食堂等の支援団体が近隣の店舗へ直接引取りに向かうという、ハローズモデルに提供方法を変更し、提供数量も飛躍的に拡大。(年間60トン＝売価換算年間5千万円相当)。同業他社にも提供を呼びかけ提供会社も大幅拡大。この「フードバンク提供促進の先進的な取組」により第6回食品産業もったいない大賞 農林水産省食料産業局長賞を受賞しました。

ハローズ モデル



事業活動を通じ、環境保全や社会貢献を果たすためには、社内の体制をしっかりと整える必要があります。当社は社長や役員をはじめ、全従業員がコーポレート・ガバナンス（企業統治）の遵守に努めることで、適切な体制のもとで事業活動を進めております。

基本的な考え方

当社は、経営理念の一つである「地域社会の生活文化向上に貢献する」に基づき、良き企業市民として社会に貢献するため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営上の重要課題であると考えております。当社は、独立役員制度及び監査役会制度を採用しており、取締役会と監査役会により、取締役の職務執行の監督及び監査を行っております。企業経営の透明性、公正性を高め、株主その他のステークホルダーの皆様のために企業価値の向上を進めてまいります。

財務諸表

● 貸借対照表

(単位:百万円)

	第61期 2019年2月28日現在	第60期 2018年2月28日現在
資産の部		
流動資産	10,921	9,597
現金及び預金	5,650	4,643
その他	5,272	4,955
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	52,913	50,908
有形固定資産	43,199	40,798
無形固定資産	573	690
投資その他の資産	9,141	9,418
資産合計	63,834	60,506
負債の部		
流動負債	16,531	15,555
買掛金	6,369	6,082
一年内返済予定の長期借入金	2,978	2,980
リース債務	580	521
未払金	1,892	1,716
未払費用	1,052	1,000
未払法人税等	1,072	894
その他	2,585	2,360
固定負債	15,626	15,996
長期借入金	8,750	9,173
リース債務	1,267	1,262
退職給付引当金	602	569
資産除去債務	1,215	1,144
預り建設協力金	1,120	1,227
長期預り敷金保証金	1,706	1,648
長期前受収益	619	614
その他	344	354
負債合計	32,157	31,551
純資産の部		
株主資本	31,575	28,871
資本金	3,114	3,114
資本剰余金	3,066	3,064
利益剰余金	25,519	22,832
自己株式	△124	△140
評価・換算差額等	0	0
その他有価証券評価差額金	0	0
新株予約権	100	82
純資産合計	31,677	28,954
負債・純資産合計	63,834	60,506

(注) 各諸表の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書

(単位:百万円)

	第61期 2018年3月1日から 2019年2月28日まで	第60期 2017年3月1日から 2018年2月28日まで
売上高	123,949	118,243
売上原価	92,830	88,526
売上総利益	31,119	29,716
営業収入	3,373	3,116
営業総利益	34,492	32,833
販売費及び一般管理費	29,576	27,919
営業利益	4,916	4,914
営業外収益	173	153
営業外費用	152	169
経常利益	4,937	4,897
特別利益	74	54
特別損失	212	65
税引前当期純利益	4,800	4,886
法人税等	1,638	1,485
当期純利益	3,161	3,400

● キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第61期 2018年3月1日から 2019年2月28日まで	第60期 2017年3月1日から 2018年2月28日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	7,129	7,192
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,648	△5,524
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,468	△1,792
現金及び現金同等物 に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物 の増減額(△減少額)	1,013	△124
現金及び現金同等物 の期首残高	5,483	5,608
現金及び現金同等物 の期末残高	6,496	5,483



株主資本等変動計算書

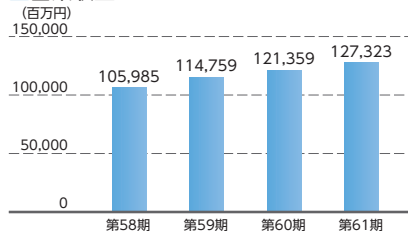
当事業年度(2018年3月1日から2019年2月28日まで)

(単位:百万円)

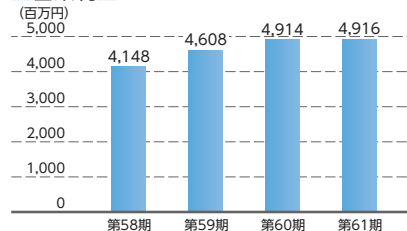
	株 主 資 本											評価・換算差額等		新 株 予 約 権	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計			
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計							
						圧縮 積立金	別途 積立金								
当期首残高	3,114	3,057	7	3,064	16	154	16,022	6,639	22,832	△140	28,871	0	0	82	28,954
当期変動額															
剰余金の配当								△474	△474		△474				△474
当期純利益								3,161	3,161		3,161				3,161
圧縮積立金の積立						1		△1	—		—				—
圧縮積立金の取崩						△7		7	—		—				—
別途積立金の積立							2,200	△2,200	—		—				—
自己株式の処分			2	2						15	17				17
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)												△0	△0	18	18
当期変動額合計	—	—	2	2	—	△6	2,200	493	2,686	15	2,704	△0	△0	18	2,722
当期末残高	3,114	3,057	9	3,066	16	148	18,222	7,132	25,519	△124	31,575	0	0	100	31,677

ハローズの業績推移

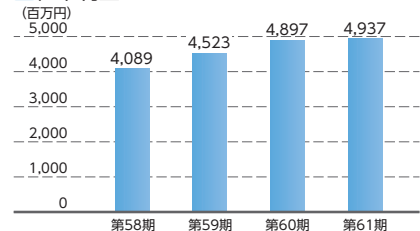
営業収益※



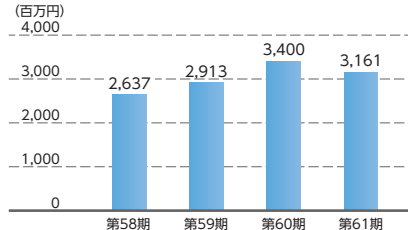
営業利益



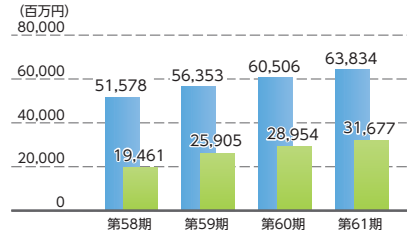
経常利益



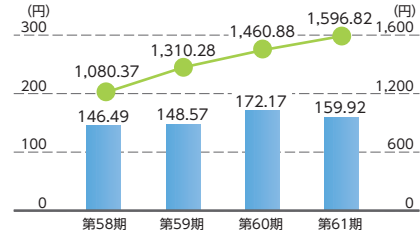
当期純利益



総資産／純資産



1株当たり当期純利益／1株当たり純資産



※売上高に営業収入を加算し、営業収益としております。

会社情報



●会社概要 (2019年2月28日現在)

会社設立 1958年10月14日
会社名 株式会社ハローズ
資本金 31億1,414万円
本社 広島県福山市南蔵王町六丁目26番7号
(同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。)
本部 岡山県都窪郡早島町早島3270番地1
電話番号:086-483-1011 (代表)
従業員数 1,091名
事業内容 食品スーパーマーケット業(食料品、日用雑貨品等の販売)
店舗数 82店舗
(広島県28店舗、岡山県25店舗、香川県11店舗、
愛媛県7店舗、徳島県5店舗、兵庫県6店舗)

●株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
剰余金の配当基準日 期末 毎年2月末日(中間配当を行う場合は8月31日)

株主名簿管理人・
特別口座の
口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

- 株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の上記電話及びインターネットでも24時間承っております。
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部
単元株式数 100株
公告掲載方法 電子公告
公告掲載URL <https://www.halows.com/>

- やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

●役員 (2019年2月28日現在)

代表取締役社長	佐藤利行
取締役副社長	佐藤太志
専務取締役	小田俊二
専務取締役	小島宏教
専務取締役	小亀井公一
常務取締役	花岡秀典
常務取締役	高橋正名
取締役	小塩登美子
取締役	末光憲司
取締役	藤井義則
取締役	池田千明
常勤監査役	岡本均
監査役	稲福康邦
監査役	松本卿式
監査役	小林正和

株主優待制度のご案内

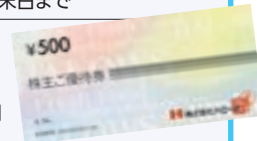
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。また、株主の皆様への感謝を込めて、株主優待制度を設けております。

所有株式数	株主ご優待券
100株以上	1,000円相当(500円優待券2枚)
500株以上	5,000円相当(500円優待券10枚)
1,000株以上	10,000円相当(500円優待券20枚)
利用方法	

- ・当社の店舗にて、1,000円以上のお買物につき、1,000円ごとに1枚利用できます。
- ・有効期限 発行された翌年の5月末日まで

進呈時期

- 毎年2月末日現在の株主名簿に記載又は記録されている100株以上ご所有の株主様に対し、年1回5月末頃発送の予定をしております。
- なお、当社店舗所在の市町村及び隣接する市町村以外に在住の株主様につきましては、上記基準による株主ご優待券にかえて「QUOカード」を進呈いたします。



High Quality & Low Price



ハローズ ホームページのご案内 <https://www.halows.com/>
ハローズ財団 ホームページのご案内 <https://www.halowszaidan.or.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。 環境にやさしい植物油インキにて印刷しています。